

研究課題： サイクロブリン特異抗体を用いた子宮内膜症性嚢胞における悪性化機構の探索

実施責任者：	放射線医学教室	大学院生	立元将太
実施分担者：	放射線医学教室	教授	吉川公彦
	放射線腫瘍医学講座	特任教授	森 俊雄
	放射線腫瘍医学講座	博士研究員	岩本顕聡
	産科婦人科学教室	教授	小林 浩
	産科婦人科学教室	助教	山田有紀

研究目的： ELISA 法（エライザ法：抗体を使用した免疫学的測定法）や免疫染色を用いて、卵巣癌組織中に含まれる DNA の傷や歪みを評価し、発癌のメカニズム解明に貢献しようとする研究です。

研究意義：卵巣癌の中でも子宮内膜症性嚢胞から発生する卵巣癌は抗がん剤耐性を有し予後不良であるなど一般的な卵巣癌とは異なる性質を有しています。発癌のメカニズム解明により新規治療薬開発や個別化医療の促進が期待されます。

対象：研究対象者は当院産婦人科で平成 23 年 1 月～27 年 3 月の間に手術が施行され、病理組織学的に子宮内膜症性嚢胞、卵巣癌と診断された患者です。対象者数は約 50 例です。

研究期間：この研究は、奈良県立医科大学の医の倫理委員会承認年月日から平成 31 年 3 月 31 日まで行う予定です。

研究方法：当院産婦人科で手術され、病理組織学的に子宮内膜症性嚢胞や卵巣癌と診断された症例を抽出します。症例の診療情報（年齢、化学療法・放射線治療・ホルモン療法の既往）を確認後、保存された嚢胞内の内容液や卵巣癌の組織を用いて ELISA 法や免疫染色を行い、細胞中の DNA にできた傷や歪みを検出します。

当該研究に参加することにより期待される利益および起こりうる危険ならびに必然的に伴う心身に対する不快な状態について：対象患者様が受ける利益・不利益はありません。

個人情報の取り扱い：収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会などで発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

その他：この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また、研究の対象となる患者さんに謝礼はありません。この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。本研究は医の倫理委員会により承認されています。

上記の研究の対象に該当する患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合には、奈良県立医科大学附属病院 放射線医学教室までご連絡ください。

問い合わせ先：奈良県立医科大学 放射線医学教室 立元将太  
連絡先 0744-22-3051 (代表)、内線(3467)